

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	海域における藻場の分布可能性の評価及び間接データに基づいた推定手法に関する研究委託
業 務 概 要	計画準備 1式 水質に基づいた藻場の分布可能性の検討 1式 現地間接データに基づいた藻場分布の推定手法の検討 漂着海藻による藻場分布の推定手法の検討 1式 環境DNA による海藻藻場等の生物分布の推定手法の検討 1式 協議・報告 3回 成果物 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所長 池田朋広 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 広島市南区宇品海岸3-10-28
契 約 年 月 日	令和3年7月29日
契 約 業 者 名	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	神奈川県横須賀市長瀬3-1-1
契 約 金 額	21,983,500円(税込み)
予 定 価 格	21,983,500円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、海域における港湾整備等に伴う生物多様性や環境への影響についての確認手法として、水質に基づいた藻場の分布可能性の評価及び現地間接データに基づいた藻場分布の推定手法の検討を行うものである。なお、本業務の検討対象は、中国地方の瀬戸内海海域とする。</p> <p>業務の遂行にあたっては、藻場の生態系及び生物多様性に係る研究実績を有し、漂着海藻に基づいた藻場分布の推定手法の検討に必要な3次元流動モデルを使いこなすことができること、また、沿岸域における環境DNA分析技術を用いたモニタリング手法に精通しているとともに、環境DNA分析結果を評価する能力を有していることが必要である。</p> <p>国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所は、瀬戸内海における藻場の生態系及び生物多様性に関する研究成果があり、藻場分布を推定するために必要となる瀬戸内海海域を対象とした3次元流動モデルを開発・保有している。また、沿岸域における環境DNA分析技術を用いたモニタリング手法に関する研究成果があり、環境DNA分析結果の評価実績を有している。以上のことから、本業務を遂行するに必要な十分な能力を有している。</p> <p>本業務を遂行するに必要な能力を有する者は、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所以外にも存在する可能性があることから、令和3年6月22日から令和3年7月12日までに本業務の業務受注希望者の公募を行った結果、上記の要件を満たす者が当該法人を除いて存在しないことが確認された。</p> <p>以上のことから、会計法第29条の3第4項（「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」）、予決令第102条の4第3項の規定に基づき、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所と随意契約を締結するものである。</p>
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 ( 自 )	令和3年7月29日
履 行 期 間 ( 至 )	令和4年3月18日
備 考	